

白馬村乗合タクシー 試験運行結果報告書



平成21年5月



白馬村 住民福祉課

目 次

ページ

1 節 運行計画の策定

1 検討組織	1
2 住民参画	3

2 節 デマンド型乗合タクシー

1 試験運行の概要	8
2 利用登録者の状況	11
3 運行状況	13
4 運行経費	18
5 利用登録者アンケートの結果	19
6 利用促進の取り組み	21

3 節 保育園児の送迎

1 試験運行の概要	25
2 運行状況	26
3 運行経費	27
4 聞き取り調査の結果	28

4 節 実証運行に向けて

1 白馬村地域公共交通連携計画の策定	30
2 目標達成のための事業	31

1節 運行計画の策定

1 検討組織

(1) 白馬村地域公共交通会議

①会議開催状況

第1回会議

- i. 日 時：平成20年3月24日(月) 午後1時30分から午後2時45分まで
- ii. 場 所：白馬村役場 201 会議室
- iii. 出席者数：20名
- iv. 内 容：1. 公共交通機関の現状について
2. 福祉交通の現状について
3. デマンド型乗合タクシーについて
4. 計画策定スケジュールについて

第2回会議

- i. 日 時：平成20年8月25日(月) 午後1時30分から午後2時22分まで
- ii. 場 所：白馬村役場 201 会議室
- iii. 出席者数：17名
- iv. 内 容：1. 経過報告
2. 試験運行計画案について
3. 移送サービスの検討状況について

第3回会議

- i. 日 時：平成21年1月23日(月)午後1時30分から午後2時22分まで
- ii. 場 所：白馬村役場 201 会議室
- iii. 出席者数：18名
- iv. 内 容：1. 経過報告
2. 運行計画案について



第2回白馬村地域公共交通会議

②委員構成

平成21年1月23日時点

選出区分	職名	氏名
白馬村	村長	太田 紘 熙
長野県	企画部交通政策課 課長	三 村 保
	北安曇地方事務所 所長	畑 中 和 良
	大町建設事務所 所長	北 野 憲 雄
	大町警察署白馬村交番 所長	小 林 照 雄
一般乗合旅客自動車運 送事業者その他の一般 旅客自動車運送事業者 及びその組織する団体	松本電気鉄道株式会社白馬営業所 所長	遠 藤 芳 房
	川中島バス株式会社 代表取締役	青 柳 正 博
	アルプス第一交通株式会社 代表取締役	上 條 良 民
	信州名鉄交通株式会社大町支社 支配人	松 沢 英 昭
	白馬観光タクシー株式会社 代表取締役	風 間 雅 裕
	社団法人長野県バス協会 専務理事	倉 島 義 和
	長野県タクシー協会 会長	安 藤 喜 久 雄
公募による村民	公募委員	速 水 政 文
	公募委員	渡 邊 宏
国土交通省	北陸信越運輸局長野運輸支局 支局長	岡 田 博
一般旅客自動車運送事 業者の事業用自動車の 運転手が組織する団体 の代表	アルピコ労働組合松本電気鉄道支部 執行委員	花 井 成 一
	アルピコ労働組合川中島バス支部 執行委員長	二 本 松 三 雄
	信州名鉄交通労働組合 大町支部長	高 橋 正 幸
村長が指名する村職員	白馬村役場総務課 課長	太 田 忠
	白馬村役場住民福祉課 課長	松 澤 衛

(2) 白馬村地域公共交通検討委員会

①会議開催状況

第1回会議

- i. 日 時：平成20年5月28日(水) 午後1時15分から午後2時36分まで
- ii. 場 所：白馬村役場 201会議室
- iii. 出席者数：14名
- iv. 内 容：1. 運行計画の策定方針について
2. 運行計画の策定スケジュールについて
3. 意見交換会の実施について

第2回会議

- i. 日 時：平成20年7月29日(火) 午後1時4分から午後2時13分まで
- ii. 場 所：白馬村役場 201会議室
- iii. 出席者数：14名
- iv. 内 容：1. グループインタビューの実施について
2. 運行計画案について
3. 今後のスケジュールについて

第3回会議

- i. 日 時：平成20年9月25日(木) 午後1時4分から午後2時2分まで
- ii. 場 所：白馬村役場 庁議室
- iii. 出席者数：13名
- iv. 内 容：1. 試験運行概要について
2. 準備状況について

第4回会議

- i. 日 時：平成21年1月13日(火) 午後1時から午後2時29分まで
- ii. 場 所：白馬村役場 201 会議室
- iii. 出席者数：15名
- iv. 内 容：1. 試験運行状況について
2. 運行計画の見直しについて

②委員構成

平成21年1月13日時点

選出区分	職 名	氏 名
住民代表	白馬村地域公共交通会議 委員（公募委員）	速 水 政 文
	白馬村地域公共交通会議 委員（公募委員）	渡 邊 宏
民生児童委員	白馬村民生児童委員	伊 藤 静 江
	白馬村民生児童委員	降 旗 陽 子
高齢者団体	白馬村老人クラブ連合会 会長	太 谷 義 男
福祉団体	社会福祉法人白馬村社会福祉協議会 理事	宮 尾 幸 典
	白馬村身体障害者福祉協会 会長	宇 佐 美 信 義
商工団体	白馬商工会 副会長	西 沢 信 男
医療機関	社団法人大北医師会 理事	栗 田 裕 二
事業者	アルプス第一交通株式会社 代表取締役	上 條 良 民
	信州名鉄交通株式会社大町支社 支配人	松 沢 英 昭
	白馬観光タクシー株式会社 代表取締役	風 間 雅 裕
行政機関	長野県北安曇地方事務所地域政策課 課長補佐	辻 久 明
	白馬村役場総務課 課長	太 田 忠
	白馬村役場住民福祉課 課長	松 澤 衛

2 住民参画

(1) 高齢者の日常の外出活動と移動に関する調査

①調査目的

高齢者に的を絞った地域交通計画の策定にあたり、高齢者の外出活動と交通行動を調査し、有効に反映することを目的とする。

②調査項目

- i. 回答者の属性
 - 年齢 ○性別 ○住まい ○職業 ○運転免許の有無 ○自動車の所有 ○運転の可否
 - 歩行の状況 ○同居家族
- ii. 日常の外出活動について
 - 買物のための外出 ○通院のための外出 ○娯楽のための外出
- iii. 既存の交通手段について
 - バス、電車、タクシーの利用状況 ○送迎の状況
- iv. デマンドタクシーの導入について
 - 必要性 ○利用頻度 ○利用方法

③調査方法

- i. 調査地域 村内全域
- ii. 調査対象 村内に住所を有する満65歳以上の高齢者（H19.11.1時点）
（ただし施設に入所されている方は除く）
- iii. 調査対象者数 1,896人（65歳以上81歳未満の方：1,428人 81歳以上の方：468人）

(2) グループインタビューの実施**①実施目的**

白馬村が実施する住民輸送サービスの運行計画策定に際し、より住民の意向を反映させるためグループインタビューを実施し、村民の意見を把握する。

〔「何パーセントの人がどう思っているか」という量的な情報を調査するアンケート調査（定量調査）のほかに、「何故そう思うか」といった質的な情報を調査するインタビュー調査（定性調査）を併用することにより、より詳細な住民意識・意向を把握しようとするもの。〕

②実施概要

グループインタビュー開催概要

日 時	場 所	地 区	会の名称	参加人員	担当職員
H20. 7. 8 11:00-11:45	飯森公民館	飯 森	もみじ会	18人	田中
H20. 7. 8 14:15-15:00	嶺方公民館	嶺 方	ラベンダーの会	6人	太田
H20. 7. 8 14:15-15:15	新田公民館	新 田	せせらぎの会	9人	田中
H20. 7. 9 11:00-11:50	沢渡公民館	沢 渡	糸桜の会	12人	田中
H20. 7. 10 11:10-11:50	堀之内公民館	堀之内	白嶺の会	10人	田中
H20. 7. 10 11:30-12:05	八方文化会館	八 方	ひょうたんの会	7人	太田
H20. 7. 14 11:20-12:00	塩島基幹センター	塩 島	トマト会	10人	田中
H20. 7. 14 11:30-12:00	深空基幹センター	深 空	見晴らしの会	7人	太田

(3) 登録者及び利用者へのアンケート調査**①調査目的**

試験運行期間中の利用登録者の状況や意向を調査し、運行計画の策定に活用する。

②調査方法

- i. 調査対象 12月10日現在で乗合タクシーの利用登録をしている方 489人
イ. 運行開始から1ヶ月（11月11日～12月10日）で利用した方 104人
ロ. まだ利用していない方 385人
- ii. 調査方法 アンケート調査票の郵送による配布・回収
- iii. 調査期間 12月11日（木）から12月24日（水）
- iv. 集計方法 単純集計

③調査項目

- i. 回答者の属性
○年齢 ○性別
- ii. 試験運行の内容について（既利用者）
○予約時間 ○運行日 ○出発時刻（始発） ○出発時刻（最終） ○運行間隔
○利用料金 ○乗降のしやすさ ○走行安全性 ○予約センターの対応 ○運転手の対応
- iii. 利用しなかった理由（未利用者）

④回答状況

i. 既利用者

回収数 (率) 87 (83.7%)

	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
男性	18	13	72.2
女性	86	70	81.4
無回答		4	
合計	104	87	83.7

ii. 未利用者

回収数 (率) 261 (67.8%)

	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
男性	126	85	67.5
女性	259	162	62.5
無回答		14	
合計	385	261	67.8

(4) 情報の公開

①ホームページによる情報提供

白馬村公式ホームページ内に専用ページを設け、会議資料や会議録、各種調査結果、運行状況などを逐次公表した。

[白馬村トップページ](#) → [行政計画](#) → [身近な地域交通](#)

http://gyosei.vill.hakuba.nagano.jp/somu/plan/public_transportation/public_transportation.html



②「広報はくば」による情報提供

村の広報誌「広報はくば」へ、「身近な地域交通の実現に向けて」として、5回にわたって準備状況や運行状況を掲載した。

H20 7月号：2ページ 9月号：1ページ 10月号：4ページ 11月号：1ページ

H21 3月号：2ページ



2節 デマンド型乗合タクシー

1 試験運行の概要

(1) 目的

本村では、主に高齢者や自動車運転免許を持たない移動制約者の買い物、通院などの交通確保と社会参加を図るために、平成21年度からデマンド型乗合タクシーの導入を図る。

しかしながら、村内においてデマンド型乗合タクシーの運行は初めての事であり、本格的な運行に向けて、利用予約制の円滑な運営、住民への周知・その習熟期間の確保、運行上の基軸ルート・停車場所・運行間隔の妥当性、運送事業者の対応体制の整備について、データ収集・分析を行い、相当量のノウハウの蓄積を行う必要があることから試験運行期間を設けることとした。

(2) 期間

平成20年11月11日（火）から平成21年3月31日（火）まで

(3) 運行方式

①事業主体

白馬村

②運行主体

アルプス第一交通株式会社
信州名鉄交通株式会社大町支社
白馬観光タクシー株式会社

③運行方法

デマンド型の乗合タクシーで戸口から戸口までの運行を行う。ただし、予約がない場合は運行しない。また、常備車両の旅客定員を超える予約がある場合は予備車両により対応する。

④基軸路線

北方面行き（国道148号） 佐野 → 飯田 → 白馬町 → 新田
南方面行き（国道148号） 新田 → 白馬町 → 飯田 → 佐野

(4) サービスレベル

①利用対象者

乗合タクシーを利用することができる者は、白馬村に住所を有する者で、次の項目に該当し、自分で（付添人の力を借りて）乗降できる者とする。また、利用にあたっては事前の登録を必要とする。

※白馬村に住所を有する者とは、白馬村の住民票に記載または外国人登録原票に登録されている者をいう。

- イ. 65歳以上の者
- ロ. 妊娠中の者
- ハ. 母子及び寡婦福祉法に規定する母子家庭等
- ニ. 生活保護法の規定に基づく被保護者世帯
- ホ. 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を所持する者
- ヘ. 介護保険法に規定する要介護認定者及び要支援認定者
- ト. 前イからへの利用者に付き添う者

②運行日

月曜日から金曜日まで（祝日及び12月29日から1月3日を除く）
〔全運行日数：91日〕

(5) 運行時刻

午 前 (北方面行き・南方面行き)	午 後 (北方面行き・南方面行き)
8 : 3 0	1 2 : 3 0
9 : 3 0	1 3 : 3 0
1 0 : 3 0	1 4 : 3 0
1 1 : 3 0	

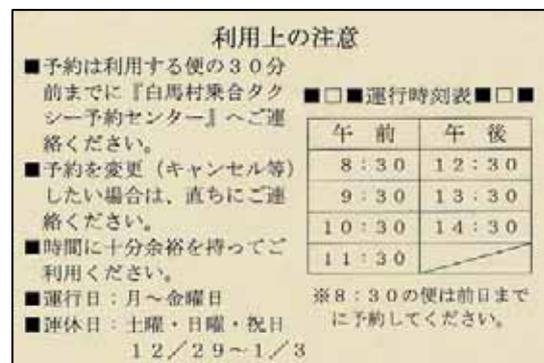
(6) 運行交番

	11月11日～1月30日		2月2日～3月31日	
北方面行き	信州名鉄交通	白馬観光タクシー	アルプス第一交通	白馬観光タクシー
1便 8:30	○		○	
2便 9:30		○		○
3便 10:30	○		○	
4便 11:30		○		○
5便 12:30	○		○	
6便 13:30		○		○
7便 14:30	○		○	
南方面行き	信州名鉄交通	白馬観光タクシー	アルプス第一交通	白馬観光タクシー
1便 8:30		○		○
2便 9:30	○		○	
3便 10:30		○		○
4便 11:30	○		○	
5便 12:30		○		○
6便 13:30	○		○	
7便 14:30		○		○

(表)



(裏)



白馬村乗合タクシー利用登録証

(7) 予 約 (キャンセル・変更も同様)

第2節 デマンド型乗合タクシー

①予約方法

乗合タクシー予約センターへ電話で予約する。
(聴覚に障害のある方はファクシミリで予約できる。)

電 話	(0 2 6 1) 7 1 - 1 1 1 1
F A X	(0 2 6 1) 7 1 - 1 1 1 3

②予約センター

白馬村社会福祉協議会事務局内
(開設時間：平日の午前8時30分から午後5時まで)

③予約時間

利用希望日の2日前(運休日を除く)から利用希望便の出発時刻の30分前までに予約
(ただし、8時30分発の便の予約は前日まで)



(8) 運賃

①普通運賃

村内全域 1乗車300円(ただし3歳児未満は無料)

②割引制度

乗合タクシー利用券(回数券) 11枚綴り 3,000円

③運賃の支払い

利用者は乗車時に300円もしくは利用券を運転手に渡す。

(9) 車両・設備

①常備車両

特定大型車(ジャンボタクシー) 2台

②予備車両

普通車を使用

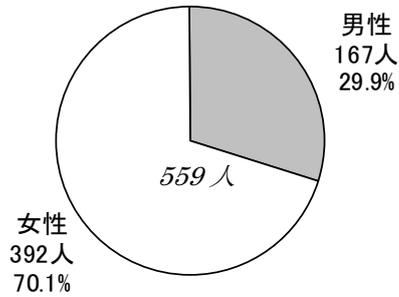


2 利用登録者の状況

(1) 利用登録者数

平成20年10月1日から登録受付を開始し、平成21年3月末時点の登録者数は559人
のぼる。

①男女別登録者数



②年代別登録者数

(単位：人)

	男 性	女 性	合 計
10歳未満	0	0	0
10歳代	1	1	2
20歳代	0	2	2
30歳代	0	2	2
40歳代	2	1	3
50歳代	2	4	6
60歳代	14	32	46
70歳代	59	188	247
80歳代	80	147	227
90歳代	9	15	24

○登録者の年齢は、男性では80歳代、女性では70歳代が多い。



③居住地区別登録者数

第2節 デマンド型乗合タクシー

(単位：人)

地 区	男 性	女 性	合 計
内 山	2	8	10
佐 野	9	22	31
沢 渡	5	24	29
三日市場	3	10	13
堀之内	9	16	25
飯 田	15	42	57
飯 森	19	28	47
名鉄別荘地	3	2	5
深 空	14	21	35
みそら野	7	18	25
白馬町	11	24	35
八 方 口	5	16	21
瑞 穂	5	10	15
エコーランド	4	7	11
八 方	6	17	23
山 麓	1	1	2
和 田 野	1	5	6
大 出	4	17	21
蕨 平	2	7	9
嶺 方	4	11	15
森 上	10	21	31
野 平	2	6	8
塩 島	5	16	21
立 の 間	5	5	10
通		4	4
青 鬼	2	4	6
新 田	1	5	6
どんぐり	4	3	7
切久保	4	10	14
落 倉	5	12	17

3 運行状況

(1) 対象期間

平成20年11月11日から平成21年3月31日まで
〔運行日数 91日〕

(2) 乗客数

- ◇延べ乗客数 1860人
- ◇日最多乗客数 41人 - 2月26日(木)
- ◇日最少乗客数 6人 - 12月5日(金)
- ◇日平均乗客数 20.4人

月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数 (日)	13	19	19	19	21	91
延べ乗客数 (人)	190	349	415	434	472	1,860
日平均乗車数 (人)	14.6	18.4	21.8	22.8	22.5	20.4

(3) 現金・回数券 (お試し利用券含む)

- ◇現金乗車数 953人
- ◇回数券乗車数 907人

(4) 総走行距離

- ◇総走行距離 15624km
- ◇日最多走行距離 238km - 2月13日(金)
- ◇日最少走行距離 120km - 3月6日(金)
- ◇日平均走行距離 171.7km

月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数 (日)	13	19	19	19	21	91
総走行距離 (km)	2,324	3,206	3,345	3,237	3,512	15,624
日平均走行距離 (km)	178.8	168.7	176.1	170.4	167.2	171.7

(5) 予備車両運行台数

月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予備車両 (台)	0	2	2	3	1	8



第2節 デマンド型乗合タクシー

(6) 集 計

①曜日別一便別乗車人数

(単位：人)

	8:30 便	9:30 便	10:30 便	11:30 便	12:30 便	13:30 便	14:30 便	合 計
月 曜 日	41	58	54	44	46	49	71	41
火 曜 日	23	56	70	54	60	30	26	23
水 曜 日	44	72	52	42	36	29	66	44
木 曜 日	65	87	75	47	40	34	70	65
金 曜 日	62	69	76	51	32	33	96	62
合 計	235	342	327	238	214	175	329	235

※運行日 月曜日：17日 火曜日・木曜日：19日 水曜日・金曜日：18日

○火曜日の利用が少なく、木・金曜日の利用が比較的多い。
○午前中の利用が多い。また、最終便の利用も多い。

②男女別一便別乗車人数

(単位：人)

	8:30 便	9:30 便	10:30 便	11:30 便	12:30 便	13:30 便	14:30 便	合 計
男 性	42	57	36	21	16	21	71	264
女 性	190	280	288	214	194	154	258	1,578
付 添 人	3	5	3	3	4	0	0	18

○女性の利用が圧倒的に多い。

③年代別一便別乗車人数

(単位：人)

	8:30 便	9:30 便	10:30 便	11:30 便	12:30 便	13:30 便	14:30 便	合 計
10歳未満								0
10歳代	3						2	5
20歳代				1		2	3	6
30歳代	1	1	2	1	1		1	7
40歳代								0
50歳代								0
60歳代	1	9	16	11	10	8	6	61
70歳代	39	112	151	107	94	67	113	683
80歳代	187	206	142	106	95	88	187	1,011
90歳以上	1	9	13	9	10	10	17	69
付添人	3	5	3	3	4			18

④居住地区別一便別乗車人数

(単位：人)

地 区	8:30	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	合 計
内 山				1	2			3
佐 野	3	54	29	18	15	4	13	136
沢 渡	5	29	22	11	11	10	2	90
三日市場	15	31	6	2	8	7	5	74
堀之内	4	7	6	8		2	3	30
飯 田	5	25	30	21	14	10	3	108
飯 森	7	24	13	18	15	1	6	84
名鉄別荘地	1		1			6		8
深 空	1	11	10	7	11	2	15	57
みそら野	3	2	19	12	10	6	4	56
白馬町	10	21	9	5	15	13	13	86
八 方 口	11	6	12	6	3	2	1	41
瑞 穂		12	9	6	6	2	4	39
エコランド	1	9	14	19	1	3	1	48
八 方	18	29	8	8	22	13	49	147
山 麓								0
和 田 野			2	5	3	19	14	43
大 出	128	16	22	5	12	13	107	303
蕨 平		3	1	1	3	5	3	16
嶺 方	5	6	7	6	4	3	3	34
森 上	1	5	11	9	7	1	42	76
野 平		9	6	5	5	6	6	37
塩 島		5	17	16	2	6	4	50
立 の 間			1					1
通		10	5	7	6	1		29
青 鬼	2		1	1		1		5
新 田			26					26
どんぐり	2	5	3	3	4			17
切久保		10	21	16	14	9	10	80
落 倉	10	8	13	19	17	30	21	118
付 添 人	3	5	3	3	4			18

⑤目的地別一便別乗車人数

(単位：人)

	8:30便	9:30便	10:30便	11:30便	12:30便	13:30便	14:30便	合計
病院等	62	158	91	23	24	33	16	407
運動施設	152	57	0	0	1	0	0	210
買い物	0	25	39	21	16	9	2	112
銀行等	0	20	30	10	9	19	1	89
役場・村施設	6	15	10	3	9	6	0	49
福祉施設	5	13	11	3	15	1	0	48
郵便局	0	11	7	5	1	7	0	31
駅	6	16	2	7	0	0	0	31
理美容院	4	11	2	2	0	1	2	22
飲食店	0	0	5	6	0	1	0	12
個人宅	0	2	3	4	2	4	6	21
薬局	0	0	5	2	2	3	2	14
入浴施設	0	2	4	5	0	0	0	11
寺社	0	2	0	3	2	0	0	7
趣味	0	2	0	0	2	0	0	4
企業	0	1	1	1	0	0	0	3
バス停	0	0	0	2	0	0	0	2
その他	0	0	1	0	1	2	0	4
自宅	0	7	116	141	130	89	300	783

- 病院への利用が圧倒的に多く、時間帯は午前中に集中する。
- 次いで運動施設への利用が多く、すべてが屋内ゲートボール場までの利用である。
- 続いて買物への利用が多く、時間帯は午前中が多い。
- 最終便で自宅まで利用する方が極端に多いことから、最終便の時刻をもう少し遅くしても利用者がいることが想定できる。



⑥自宅以外の乗車地（15人以上を掲載）

乗車地	人数	乗車地	人数
いこいの杜スポーツアリーナ	154	武田歯科医院	25
Aコープ白馬店（ハピア）	124	国民保養センター岳の湯	25
安曇総合病院附属白馬診療所	109	しんたにクリニック	20
神城醫院	52	松倉健二鍼灸整骨院	19
ジャスコ新白馬店	39	公済堂北沢医院	17
アップルランド白馬店	31	栗田医院	16
白馬メディア	29	J A大北白馬支所	16
白馬村役場	27	J R白馬駅	15
横沢医院	26	J A大北神城支所	15

⑦自宅以外の降車地（10人以上を掲載）

降車地	人数	降車地	人数
いこいの杜スポーツアリーナ	190	しんたにクリニック	22
安曇総合病院附属白馬診療所	123	白馬郵便局	20
神城醫院	58	公済堂北沢医院	20
栗田医院	58	長野銀行白馬支店	19
横沢医院	47	個人宅	18
武田歯科医院	46	J A大北神城支所	18
ジャスコ新白馬店	44	J R白馬駅	17
J A大北白馬支所	44	倉科整骨院	16
白馬村役場	42	八十二銀行白馬支店	12
Aコープ白馬店（ハピア）	40	アップルランド白馬店	12
白馬メディア	34	神城郵便局	10

- 冬期間の屋内ゲートボール場の利用が多い。
- Aコープ白馬店を乗車地とする方が多い。他に用を足してから、最終的にAコープ白馬店で乗車することがわかる。
- どの医療機関も乗車人数より降車人数の方が多。医療機関での受診までの時間がわからないことにより、帰りの便の予約ができなかったり、商業施設等で時間を潰すためと思われる。
- 金融機関で降車する方は、どこかで用を足してから帰宅する。

4 運行経費

(1) 初期経費

単位：円

予約配車システム（ハード・ソフト）	3,502,800
通信設備（回線工事・機器購入）	149,100
車両ラッピング	240,870
合 計	3,892,770

(2) 運行経費

単位：円

	11月	12月	1月	2月	3月
運行委託料	387,210	543,750	522,150	521,460	567,180
燃料代	60,167	74,596	71,250	68,941	73,906
予約センター運営委託料	40,500	42,750	42,750	42,750	47,250
通信費（電話代）	5,461	9,308	8,465	8,967	9,040
合 計	493,338	670,404	644,615	642,118	697,376

(3) その他経費

単位：円

周知・広報（印刷・用紙・新聞折込）	202,115
利用促進ステッカー製作	32,550
回数券作成（11枚綴り1,000部）	39,900
消耗品	132,088
合 計	406,653

(4) 回数券販売額

単位：円

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
販売額	6,000	63,000	42,000	45,000	63,000	24,000	243,000

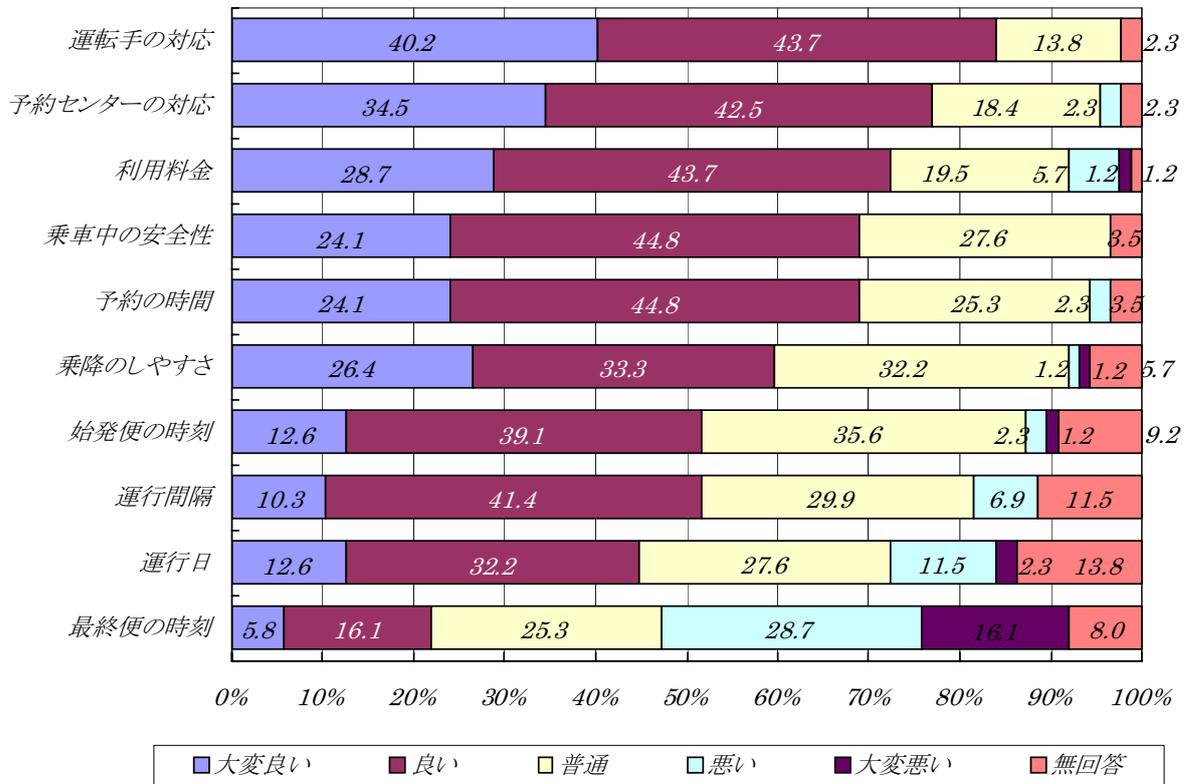
(5) 運行単価〔(運行経費－回数券販売額)／便数、利用人数〕

単位：円

	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1便当たりの運行単価	2,364	2,362	2,254	2,177	2,290	2,280
1人当たりの運行単価	2,264	1,801	1,445	1,334	1,427	1,562

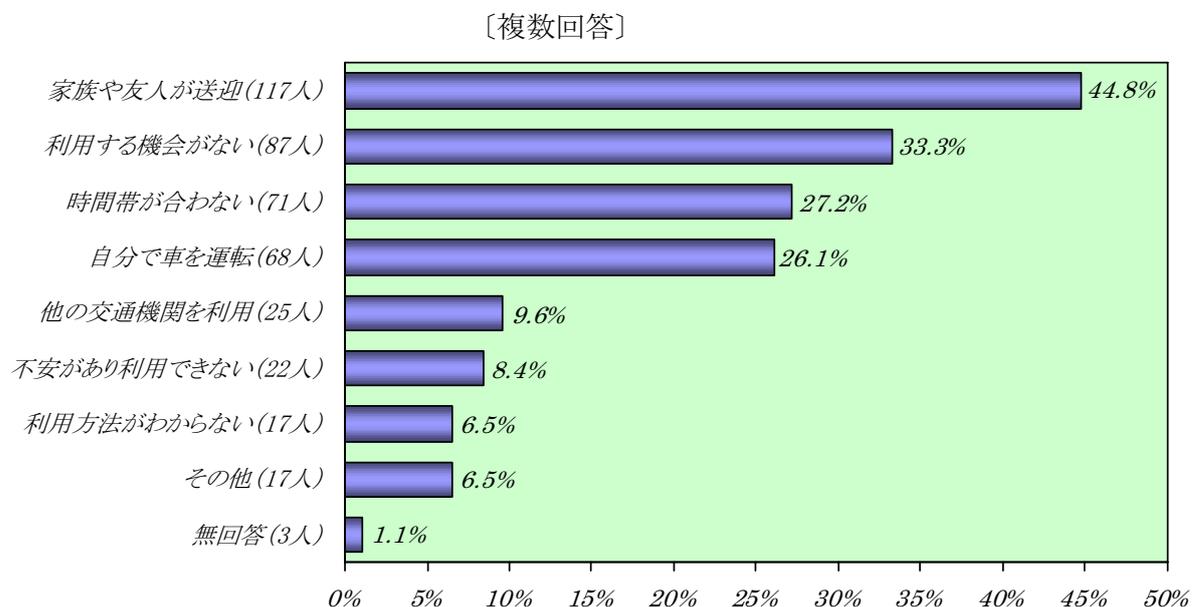
5 利用登録者アンケートの結果

(1) 利用者の評価 (11月11日から12月10日の1ヶ月間に利用した方のうち87人が回答)



- 「運転手の対応」、「予約センターの対応」、「利用料金」、「乗車中の安全性」、「予約時間」については高い評価を得ている。
- 「始発便の時刻」、「運行間隔」、「運行日」については普通の評価である。
- 「最終便の時刻」については、悪いという評価をしている方が多く、改善が望まれる。

(2) 利用しなかった理由 (12月10日までに利用しなかった方のうち261人が回答)



第2節 デマンド型乗合タクシー

- 「家族や友人が送迎」と回答した方は、送迎する方の都合が悪い場合に利用すると思われる。
- 「時間帯が合わない」と回答した方は、早朝もしくは、午後遅い時間帯の利用希望であることが想定できる。
- 「自分で車を運転」と回答した方は、冬季間、あるいはもう何年かすれば利用することになるとと思われる。
- 「不安があり利用できない」あるいは「利用方法がわからない」と回答した方には、何らかの手段が望まれる。

(3) 具体的な要望や感想 (1人の回答が2つの内容を含む場合は2件に集計)

内 容	件 数	割 合
運行時間に関する事	45	20.4%
利用料金に関する事	10	4.5%
予約に関する事	8	3.6%
運行日に関する事	7	3.2%
乗り降りに関する事	3	1.4%
運行間隔に関する事	2	0.9%
事業に関する感想 (よい感想)	34	15.4%
事業に関する感想 (使いにくい)	39	17.6%
利用しなかった理由	60	27.1%
その他	13	5.9%
合 計	221	100.0%

- 「運行時間に関する事」の多くは、もう少し遅くまで運行してほしいという意見であった。また、JRとの連絡についての要望も多かった。
- 「利用料金に関する事」については、高いという意見と安いという意見の双方がある。
- 「運行日に関する事」についての意見は、すべてが土日の運行希望である。
- 「事業に関する感想 (使いにくい)」については、途中下車 (車を待たせて用を足す) に関する要望と、診察時間などが不明確で帰りの便の予約がしにくいという意見が特に多かった。

白馬村乗合タクシー〔試験運行〕アンケート調査票
 当てはまる番号に○をつけてください

ご自身についてお答えください。

年 齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代 9. 90歳以上
性 別	1. 男性 2. 女性

試験運行の内容についてどう思いますか。

内 容	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
予 約 時 間 (出発時刻の30分前までに予約)	1.	2.	3.	4.	5.
運 行 日 (土日・祝日・年末年始をのぞく毎日運行)	1.	2.	3.	4.	5.
出 発 時 刻 (始発 午前8時30分)	1.	2.	3.	4.	5.
〃 (最終 午後2時30分)	1.	2.	3.	4.	5.
運 行 間 隔 (1時間間隔)	1.	2.	3.	4.	5.
利 用 料 金 (300円)	1.	2.	3.	4.	5.
車両への乗り降りのしやすさ	1.	2.	3.	4.	5.
乗車中の安全性	1.	2.	3.	4.	5.
予約センターの電話受付の対応	1.	2.	3.	4.	5.
運転手の対応	1.	2.	3.	4.	5.

具体的な要望・感想がありましたらご自由にお書きください。

(書ききれなければ裏面も使ってください)

ご協力ありがとうございました。
この用紙を同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにポストに投函してください。

白馬村乗合タクシー利用者アンケート調査票
 質問の当てはまる番号に○をつけてください。

質問1 あなた自身についてお答えください。

年 齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代
9. 90代以上

性 別 1. 男性 2. 女性

質問2 登録されてから今までで利用しなかった理由は何ですか (複数回答可)。

1. 自分の運転で移動した
2. 公共交通機関を利用した
3. 家族や友人が送迎した
4. 利用する機会がなかった
5. 利用方法がわからなかった
6. 不安があり利用できなかった
7. 利用したい時間帯と合わなかった
8. その他 ()

具体的なご意見・ご要望がありましたら記入して下さい。

アンケート調査用紙

6 利用促進の取り組み

(1) 運行周知チラシの作成・配布

デマンド型乗合タクシーの利用方法や運行内容の周知を図るために、2種類のチラシを作成し配布した。

○チラシA

10月	1日	新聞折り込み	3,200枚
		役場・社会福祉協議会窓口配布	800枚
10月	6日	地区を通じて配布	2,754枚



○チラシB

3月	16日	地区を通じて配布	2,756枚
		役場・社会福祉協議会窓口配布	191枚
3月	19日	枚新聞折り込み	3,200枚
		既登録者へ郵送	553枚



(2) 時刻表の作成・配布

主な乗車地となる医療機関や商業施設に時刻表を掲示した。

○時刻表

カラーレーザープリンター出力 ラミネート加工

医療機関（14ヶ所）	： A4版×21枚	A5版×11枚	A6版×2枚
商業施設（3ヶ所）	： A4版×3枚	A5版×3枚	A6版×1枚
JR駅舎（5ヶ所）	： A4版×8枚	A5版×2枚	A6版×1枚
その他施設（2ヶ所）	： A4版×2枚	A5版×1枚	



白馬村乗合タクシー

時刻表

出発時間	予約の締切時間
8 : 30	前 日
9 : 30	9 : 00
10 : 30	10 : 00
11 : 30	11 : 00
12 : 30	12 : 00
13 : 30	13 : 00
14 : 30	14 : 00

予約センター電話番号

71-1111

白馬村役場住民福祉課



(3) 回数券の作成・販売

利用者の利便性を向上し、利用促進を図るため回数券を作成し販売した。

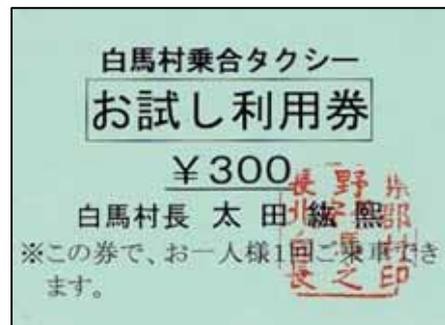
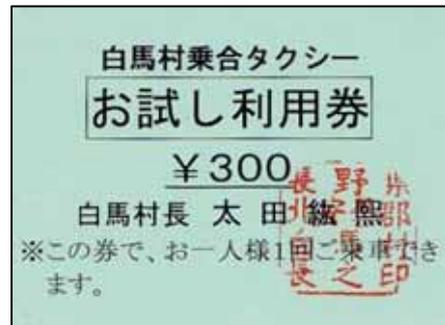
○利用回数券

11枚綴り 3,000円



○お試し利用券

登録時に2回乗車分の利用券を無償で配布



(4) 利用促進ステッカーの作成・配布

乗合タクシー予約センターの電話番号を記載したステッカーを作成し、各世帯に配布した。

○ステッカー

四角型 2C印刷 90mm×90mm
2,000枚
平成21年3月16日配布

ステッカー



90×90

(5) 車両ラッピング製作

タクシー事業者の車両を使用することから、着脱できるようにマグネットシートにより、ラッピングを施した。

○試験運行PR用

マグネット インクジェットシート貼り ラミネート加工
H400mm×W1,200mm×2面 H250mm×W 500mm×2面



○実証運行PR用

マグネット インクジェットシート貼り ラミネート加工
H400mm×W1,200mm×2面 H250mm×W 500mm×2面



3節 保育園児の送迎

1 試験運行の概要

(1) 運行内容

①対象地区

内山、佐野、沢渡、三日市場、堀之内

②対象児童

3歳児～5歳児

③運行期間

通常保育日（希望保育日は保護者の希望により運行）

④運行時間及び乗降場所

登 園（行き）		降 園（帰り）	
乗降場所	出発時間	乗降場所	出発時間
白馬南小学校	7：50	しろうま保育園	16：00
↓		↓	
サンサンパーク	8：00	サンサンパーク	16：15
↓		↓	
しろうま保育園	8：15着	白馬南小学校	16：25着

⑤運行事業者

白馬観光タクシー株式会社

⑥運行車両

ジャンボタクシーを使用

⑦その他

- ・送迎車に保育士等が同乗
- ・送迎中は、乗車状況に応じてジュニアシートを着用

(2) 送迎車利用の保護者負担金

利用区分	料 金
往復利用（1世帯）	3,000円（月額）
片道利用（1世帯）	1,500円（月額）
臨時利用（1人）	100円（1回）

2 運行状況

(1) 月別乗車数

(単位：人)

	運行日(日)	登園	降園	合計
4月	18	129	73	202
5月	20	137	111	248
6月	21	139	106	245
7月	22	143	98	241
8月	17	98	83	181
9月	20	133	103	236
10月	22	138	113	251
11月	18	124	102	226
12月	19	124	116	240
1月	19	120	110	230
2月	19	101	95	196
3月	16	86	93	179
合計	231	1,472	1,203	2,675

- 4月の登録者数は登園・降園ともに8名、5月から11月までは、登園8名、降園7名、12月から2月までは登園・降園ともに8名、3月は登園7名、降園8名である。
 ○4月の降園便は、ならし保育(半日保育)期間があったため、利用者が少なかった。
 ○8月、3月は小中学校の夏休み、春休みにあたり、家で保育する家庭が多かったため利用者が少ない。

(2) 送迎車利用率

(単位：%)

	登園	降園	月平均
4月	89.6	57.0	74.3
5月	85.6	79.3	82.7
6月	82.7	75.7	79.5
7月	81.3	66.7	74.6
8月	72.1	69.7	71.0
9月	83.1	77.4	80.5
10月	78.4	73.4	76.1
11月	86.1	85.7	85.9
12月	81.6	76.3	78.9
1月	78.9	72.4	75.7
2月	66.4	62.5	64.5
3月	76.8	77.5	77.2
年平均	80.3	72.6	76.7

- 登録児童の利用率は月平均70%台後半である。
 ○登園の利用率に比べ、降園の利用率が低い。

3 運行経費

(1) 初期経費

単位：円

ジュニアシート	48,720
幼児バスステッカー	8,400
携帯電話契約手数料等	2,891
合 計	60,011

(2) 運行経費

単位：円

運行委託料	1,051,050
同乗者人件費	416,700
通信費（電話代）	9,311
合 計	1,477,061

(3) 保護者の負担金

単位：円

園児送迎車利用負担金	275,200
------------	----------------

(4) 運行単価〔(運行経費－保護者負担金)／便数、利用人数〕

単位：円

	登 園	降 園	平 均
1 便当たりの運行単価	2,641		
1 人当たりの運行単価	816.5	999.1	1,562



4 聞き取り調査の結果

(1) 調査概要

①調査日時

平成20年12月17・18日

②調査対象

送迎車利用者（保護者）

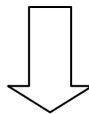
③調査方法

電話による聞き取り調査

(2) 調査内容と結果

①送迎時間について

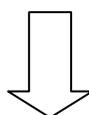
- 朝の出発時間が早くて心配であったが、時間に慣れてきたらよくなった。
- 朝の出発時間は、働く親のための時間設定だと思うので、早い時間帯の便と遅い時間帯の便の2便を出してほしい。
- 行き帰りとも今の時間でよいと思う。
- 朝の時間は、保育園に入ったばかりの3歳児には早いと感じた。
- 南小とサンサンパークのルートを逆に回ってもよいと思う。
- 帰りの時間は特に問題ない。



現在の運行時間、特に帰りの時間はちょうどよいという意見が多かった。

②運転手、同乗者職員の対応について

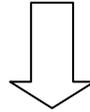
- 運転手は安全運転であるし、とても親切に対応してくれている。
- 運転手が布団の積み下ろしなどを手伝ってくれるので感謝している。
- 安全運転を心掛けてくれているので安心である。
- 当初、同乗職員の対応に不安を感じたが、今はよいと思う。手遊びや話しかけてくれたりするので、子ども達も喜んで送迎車に乗っている。
- 保育士が同乗しないと聞いて心配したが、同乗する職員が一生懸命やってくれているので安心した。
- 最初、同乗職員がちゃんと子ども達を見ってくれるのか心配だったが、今は心配なくなった。子ども達も慣れてきており、職員も送迎車の中で子ども達に色々話しかけてくれているようである。



運転手、同乗者職員の対応はよいという意見が多かった。

③乗降場所について

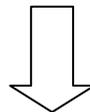
- 乗降場所はよいと思う。
- 南小の駐車場は冬になると歩道が無くなるので、沢渡公民館あたりにできないか。
- サンサンパークは今の利用者からすればちょうどよい場所である。
- 佐野地区へ1ヶ所乗車場所を設けてほしい。
- サンサンパーク・南小は乗降場所としてはよいと思うのでそのまま残し、もう1ヶ所佐野地区にも乗車場所があればよいと思う。



- 乗降場所は現在の場所でよいという意見がほとんどであった。
- 佐野地区に乗降場所の設置を検討する。

④その他要望事項

- 送迎対象地区を拡大して多くの人が利用できるようにしてほしい。保育園に近い子どもは、利用料金を上げるなどして、若干の負担増があったとしても利用できるのであればよいと思う。
- 送迎車に保育士も同乗してほしい。普段保育園に行くことができないので、日常的な連絡ができないし連絡が遅れる。
- 園の都合で半日になった時に、昼に帰宅する便を出してほしい。
- 園児送迎車なので車の装飾を工夫してほしい（白馬らしさのあるステッカーを貼るなど）。



- 対象児の拡大について今後検討する。
- 定期的な保育士の同乗について検討する。
- 保育園行事等の都合から、半日で園が終わる場合、昼の便の運行について検討する。

4節 実証運行に向けて

1 白馬村地域公共交通総合連携計画の策定

(1) 計画策定の目的

「白馬村地域公共交通連携計画」は、これまで検討を重ねてきた新たな交通システムを軸として、交通事業者や関係機関が連携し、住民や観光客のニーズを反映した持続性のあるシステムの構築を目指すとともに、地域の主体的な取り組み及び創意工夫を総合的かつ効率的に推進するための計画とする。

(2) 計画の区域

「白馬村地域公共交通連携計画」における計画区域は、白馬村全域とする。

(3) 計画の目標

基本方針 1	公共交通を必要とする人のニーズに応えた交通体系を構築し、安心して暮らせる白馬村を目指す。
目 標	マイカーの普及にともない、村民生活においては公共交通を必要とし、また公共交通に期待する人は限定的である。しかしながら、自らの移動手段を持たない高齢者等を中心とした村民に対し、限られた財政状況の下、そのニーズに焦点を絞り、生活環境を支えるための、持続的で身近な地域公共交通を構築する。 本計画では、高齢者を中心とした村民の日常の移動活動（通院や買物）を優先し、デマンド型乗合タクシーの運行計画を実証することにより、その評価・検証を行うとともに、乗合タクシーによる交通体系の整理を図る。
基本方針 2	村（行政）と村民と事業者がそれぞれの役割を担い、協働することによって生活交通の充実を図る。
目 標	新たな公共交通の実現には、村と村民、事業者等が協働して交通システムを構築するとともに、利用者のニーズを集約し、随時運行に反映させることができる体制づくりが重要となる。 需要応答型交通（デマンド型乗合タクシー）の運行にあたり、予約制のメリットを活用して、多くの村民や事業者が参加できる協議の場を設け、運行体制の改善に努める。
基本方針 3	白馬村の地域資源を活かした、元気な観光交通体系をつくる。
目 標	白馬村を訪れる外国人観光客の宿泊形態は主に長期滞在型であり、特に夕食については宿泊施設以外で楽しむという傾向（泊食分離）が強いため、夕方以降の時間帯における交通アクセスの整備が求められている。 そのため、長期滞在型の外国人観光客や国内観光客が、安心して快適に利用できる村内の移動手段として、宿泊施設と飲食店、スーパーやコンビニエンスストア等を結ぶ村内循環バスの整備により、快適に過ごせる観光交通システムを構築する。

※基本方針3とその目標は、乗合タクシー事業とは直接関係ない。

(4) 計画期間

計画期間は、平成21年度から平成23年度までの3ヵ年とする。

2 目標達成のための事業

(1) 乗合タクシー実証運行事業

① デマンド型乗合タクシー

項目	内容
運行の目的	主に高齢者や自動車運転免許を持たない移動制約者の買い物、通院などの交通確保と社会参加を図るためにデマンド型乗合タクシーを実証運行する。
運行開始	平成21年4月1日
事業主体	白馬村
運行主体	村内タクシー事業者 アルプス第一交通株式会社 信州名鉄交通株式会社 白馬観光タクシー株式会社
運行方法	デマンド型の乗合タクシーで戸口から戸口までの運行を行う。ただし、予約がない場合は運行しない。また、常備車両の旅客定員を超える予約がある場合は予備車両により対応する。
基軸路線	[北方面行き] 佐野 → 飯田 → 白馬町 → 新田 [南方面行き] 新田 → 白馬町 → 飯田 → 佐野
利用対象者	事前登録とし、次の項目に該当する者を優先する。 ① 65歳以上の方 ② 妊娠中の方 ③ 母子及び寡婦福祉法の規定に基づく母子世帯 ④ 生活保護法の規定に基づく被保護世帯 ⑤ 身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳を所持する方 ⑥ 介護保険被保険者証を所持する方 ⑦ 上記の利用者に付き添う方
運行日	月曜日から金曜日まで（ただし祝日及び12月29日から1月3日を除く）
運行本数	北方面行き・南方面行き各8便 計16便
予約	予約方法は予約センターへ電話で予約 （聴覚に障害のある方はファクシミリで予約できる）
予約センター	白馬村社会福祉協議会事務局内 白馬村大字北城7,025番地 （開設時間：平日の午前8時30分から午後5時まで）
予約時間	利用希望日の2日前（運休日を除く）から利用希望便の出発時刻の30分前までに予約（ただし、始発便の予約は前日まで）
運賃の設定	① 普通運賃：村内全域 1乗車300円 （3歳児未満（4月1日に3歳に達していない者）は無料） ② 割引制度：回数券割引 11枚綴り 3,000円
車両・設備	① 常備車両：特定大型車（通称：ジャンボタクシー） ② 予備車両：普通車を使用
期待される効果	○ 交通施策として ・ 運行区域を村内全域とし、戸口から戸口までの運送を行うことで、村内の高齢者等に公平な公共交通サービスの提供がなされる。 ・ 村民意識調査の結果では、73.3%の高齢者の利用意向が確認できることから、今後コストバランスのとれた事業として期待できる。

	<p>○利用者にとって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸口から戸口までの運行が実現されることで、地域住民にとって利便性の高い交通サービスの提供が可能になる。 ・家族等に依存することなく自分の都合に合わせて外出が可能になり、外出機会の増加が期待できる。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな村内移動の動線が生まれることから、商店街への集客等、地域の活性化が期待できる。 ・村内タクシー事業者の車両を平日借上げることから、車両の有効利用が期待される。
--	---

②保育園児送迎乗合タクシー

項 目	内 容								
運 行 の 目 的	保育園から著しく遠い村内の地区に居住する保育園児童を対象に送迎を行い、保護者の送迎に対する安心・安全性の向上と送迎負担の軽減を図る。また、送迎時間の短縮により一定の就労時間を確保し、厳しい経済状況の中でも安定した就労時間と雇用の確保に寄与する。								
運 行 開 始 時 期	平成 21 年 4 月 1 日								
事 業 主 体	白 馬 村								
運 行 主 体	白馬観光タクシー株式会社								
運 行 方 法	定時定路線による乗合タクシーで朝夕の保育園児の送迎を行う。								
運 行 路 線	〔登 園〕 神城地区 → 白馬村しろま保育園 〔降 園〕 白馬村しろま保育園 → 神城地区								
利 用 対 象 者	①対象地区：内山、佐野、沢渡、三日市場、堀之内 ②対象児童：3歳児～5歳児								
運 行 日	通常保育日（希望保育日は保護者の希望により運行）								
運 行 本 数	登園・降園各 1 便								
運 賃 の 設 定	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">利用区分</th> <th style="text-align: center;">料 金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">往復利用（1世帯）</td> <td style="text-align: center;">3, 0 0 0円（月額）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">片道利用（1世帯）</td> <td style="text-align: center;">1, 5 0 0円（月額）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">臨時利用（1人）</td> <td style="text-align: center;">1 0 0円（1回）</td> </tr> </tbody> </table>	利用区分	料 金	往復利用（1世帯）	3, 0 0 0円（月額）	片道利用（1世帯）	1, 5 0 0円（月額）	臨時利用（1人）	1 0 0円（1回）
利用区分	料 金								
往復利用（1世帯）	3, 0 0 0円（月額）								
片道利用（1世帯）	1, 5 0 0円（月額）								
臨時利用（1人）	1 0 0円（1回）								
期 待 さ れ る 効 果	<p>○送迎時間が大幅に短縮される事から、保育園から遠距離にある家庭の保護者負担が軽減されるとともに、費用負担の公平化が図られる。</p> <p>○送迎時間の短縮により、一定の就労時間が確保されることから、安定した就労・雇用につながる。</p> <p>○乗合で送迎することにより、登園、降園時の園周辺の混雑が緩和され、交通事故防止が期待できる。</p> <p>○タクシー事業者による送迎により安全性の向上が期待でき、児童の安全確保や送迎に対する安心感が得られる。</p>								

(2) 公共交通利用促進に向けた環境整備・地域との協働体制に向けた事業

公共交通の利用促進や利用しやすい環境を整備するほか、乗合タクシーの実証運行を含めた各種交通施策に関する広報活動並びに住民懇談会などの協議の場を設け、さらに利用しやすい交通システムになるような改善を図るための体制を整える。

項目	内容
事業内容	公共交通利用促進に向け、白馬村ホームページや地域の集会・懇談会等において、村民に対する情報発信や、乗合事業による環境負荷の軽減への対応PRなど、公共交通利用に対して関心の高まるような取り組みを推進する。
事業開始時期	平成21年度
事業主体	白馬村地域公共交通会議
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な主体との連携と協働による事業の推進 持続可能な地域公共交通を確立していくため、交通事業者や行政だけでなく、村民や利用者、地域の各種団体等多様な主体相互が密接に連携・協働を図りながら、各種施策を効果的・効率的に展開する。 ○事業の推進管理 計画事業を着実に実施し目標を達成するため、白馬村地域公共交通会議が中心となり、施策の推進状況について定期的に点検・評価を行うとともに、その評価結果や経済社会情勢の変化、国の動向なども踏まえながら、必要に応じて見直しを行う。
具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○利用促進及び啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、行政ホームページ等の広報媒体を活用した情報提供 ・行政区、利用者への制度説明会の実施 ○村民及び利用者ニーズの把握 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査、グループインタビューの実施 ○事業の推進管理 <ul style="list-style-type: none"> ・白馬村地域公共交通会議、白馬村地域公共交通検討委員会及び各運行委員会の定期開催
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ○村民参画による協働の村づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各主体が役割と責任を分担することにより、柔軟で迅速な対応が可能となる。 ・公共交通に関する検討の場に村民の参画機会が増え、実情の把握と村民の要望を反映しやすくなる。 ・行政、交通事業者等の意識改革にもつながる。 ○行政運営 <ul style="list-style-type: none"> ・村民や交通事業者など関係主体との連携のもと、地域の実情に応じた交通施策を村づくり政策と一体的に展開することが期待できる。 ・住民生活に密着した地域公共交通の維持・活性化に関する取組については、関係主体や村民の合意形成を図りながら、自主性と創意工夫をもって、地域にとって最適な公共交通の実現に向けて推進することが期待できる。 ○利用者や交通事業者にとって <ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の軽減、地域の公共交通の維持といった観点から、過度に自動車に依存したライフスタイルを見直し、積極的に公共交通を利用することが期待できる。 ・安全で快適なサービスを提供するとともに、公共性と採算性のバランスを図りながら、利用者ニーズに的確に対応した質の高いサービスの提供ができる。